

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 1958年4月19日の金環日食の8mm映画フィルムは16mmフィルムだった**

アーカイブ新聞第980号(2016年12月28日)に「1958年4月19日の金環日食の8mm映画フィルム発見」という記事を書いた。古い8mmフィルムをDVDにダビングする業者があることがわかり、この金環日食の8mmフィルムは貴重なのでDVD化することを進めていた。ところがこの作業の見積もりを取るために業者に渡したら、なんとこのフィルムは16mm映画フィルムだという。筆者は西先生とこのフィルムの検索に当たったが、西先生は8mmフィルムだと言っていたので、サイズを測ることもせず、8mm映画フィルムとして手続きを進めていたのであった。写真1が、その8mmフィルムと思っていたものである。



写真1 8mmフィルムと思われていたフォルム

そこでよくフィルムの缶を見れば、なんと「16mm」ときちんと書かれているではないか、なんとという迂闊なことだ。お恥ずかしい次第であった(写真2、3)。



写真2



写真3 写真2の16mmの部分の拡大

8mm映画フィルムのDVD化は比較的安価でできるのだが、16mm映画フィルムは業務用フィルムということで、少々価格が高くなるということであった。

多少価格が張っても、貴重なフィルムなのでDVD化する方針は変わらない。恥ずかしながら、今一度、このフィルムの缶の写真を載せておく（写真4）。



写真4 16mm映画フィルム

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp